

2016年4月16日
イオン株式会社
日本航空株式会社

JALとイオンとの「緊急物資の輸送に関する覚書」に基づく支援について

このたびの「平成28年熊本地震」におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

熊本地方では現在も多数の余震が続いており、多くの方々が避難を余儀なくされているほか、家屋の倒壊や土砂崩れなど被害の拡大が懸念されています。

JALとイオンの両社は、今回の地震を受け熊本県からの要請に基づき、被災者の皆さまの避難スペースとして利用できる緊急避難用大型テント「バルーンシェルター」を、本年3月に締結した「緊急物資の輸送に関する覚書」に基づき長崎空港へ空輸、陸上自衛隊の協力によって同県上益城郡御船町に輸送します。

今後も両社は、互いの有する情報・物流ネットワークを活かし、災害支援に取り組んでまいります。

以上

参 考

■ バルーンシェルターについて

イオンでは全国29箇所に配備しています。(2016年4月現在)

バルーンシェルターは、PWJが繊維メーカーの帝人と共同で開発した緊急支援活動用の大型テントです。耐風圧性能などの強度も合わせ持ちながら携帯性に優れ、収納時は1m×1m×0.8mのサイズ(重量約60kg)。ワゴンやヘリ、小型飛行機による運搬も可能です。

設置は約30~40分で行うことができ、軽量の素材を空気で送り続けて維持するため、倒壊や、倒壊によるけがなどの心配はありません。

立ち上げると、1セット(2基)あたり約100人程度(シングルベッド弱換算)を収容することができます。国内では、新潟県中越地震で、初めて本格的に使用しました。

・規格(1基あたり)

開口サイズ: 2.2m

奥行き: 2基1セットで約11.6m(1基 約5.8m)

高さ: 内部の高さ3m

重量: 60kg

収納サイズ: 1×1×0.8m

